

# 砂と暮らし 砂に学ぶ

ITP  
だより

鳥取大学では、このITPにより修士課程の学生を約1年間海外に送り出していますが、ほかにも独自のプログラムを企画・実施しています。

本紙、ラパスだよりに連載されたメキシコ派遣プログラム。これは学部学生をメキシコへ約3カ月程度派遣し、現地での実習等を行うものです。修士課程は、このITP。学生だけで海外に約1年間滞在する、武者修行型のプログラムです。

## 来たれ、鳥取大学へ!

さらに博士課程でも、海外での調査研究を支援するプログラムがあります。乾燥地科学の分野において、学部から博士までこれだけ一貫・充実した教育プログラムを持つのは、日本では鳥取大学だけです。

大学受験を目指す皆さん、私たちと一緒に乾燥地の不思議、砂漠化の問題を学びませんか? まずは、百聞は一見にしかず。

このITPで海外留学から帰ってきた学生さんが報告会を開きます。この機会に鳥取大学ではどれだけ学生さんが成長するのか、ぜひ見ていただきたいと思えます。では、会場でお会いしましょう!

(鳥取大学乾燥地研究センター・教授 恒川篤史)

(おわり)

鳥取大学若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム報告会を1月14日午後4時20分~同6時10分、鳥大・共通教育棟3階(C31講義室)で開きます。

シリア、チュニジア、中国に滞在したITP第1期生の学生らが、現地での研究・生活の様子、各国事情等について報告します。誰でも参加でき、予約は不要です。問い合わせは電話0857(31)5052、鳥取大学国際交流課、大塚さんへ。



派遣学生の健康管理は大事な仕事。乾燥地研究センター・保健医学部門の大谷眞二先生(日野病院副院長、写真左)が現地に赴き、酒井君の健康診断をしている様子(シリアの国際乾燥地農業研究センター内のクリニック)